

PRESS RELEASE

2013年7月30日
株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、「IIJ GIO クラウドトランスコードパッケージ」を提供開始

-- 動画配信のためのトランスコード技術をクラウドソリューションとして提供し、
この夏、「夏の高校野球」の動画配信でも利用予定 --

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝 栄二郎、コード番号:3774 東証第一部)は、大量の動画ファイルを、クラウド上で手軽にフォーマット変換できるソリューション「IIJ GIO(ジオ)クラウドトランスコードパッケージ」(以下、本パッケージ)の提供を、2013年7月30日より開始いたします。

「トランスコード」とは、映像ファイルの映像および音声形式を、PCやスマートフォンなど配信対象のデバイスに合わせてデジタル形式のまま変換する作業です。商用利用におけるトランスコードには、大容量のデータを扱える高性能なサーバと専門的な技術をもった人材が必要です。デバイスの多様化にともない、コンテンツ配信市場では映像ファイルのトランスコード需要も増大しています。

本パッケージは、そのような需要に応え、これまでIIJが放送局等へ提供してきたトランスコードシステム運用の実績をパッケージ化して提供するものです。従来、トランスコードシステムの多くはソフトウェアで提供されてきましたが、本パッケージではクラウド上のサーバとソフトウェアをパッケージにして、月額課金で提供いたします。これにより、動画配信事業者のお客様は、トランスコード処理にかかる設備コスト、あるいは外注コストを大幅に削減できます。

なお、IIJでは、8月8日から開催される「第95回全国高校野球選手権記念大会」の放送を手掛ける朝日放送株式会社に本パッケージを提供する予定です。

本パッケージの特長は、以下の通りです。

商用利用に適した高性能のソフトウェアを採用

本パッケージでは、米国Capella Systems社が開発したソフトウェア「Cambria FTC」を採用し、クラウドサービス「IIJ GIO サービス」上でお客様に提供いたします。Cambria FTCは、映像配信の専門家から定評のあるトランスコード用のソフトウェアで、編集後のApple ProRes、Canopus HQ等のフォーマットをFlash Video、HLS、MPEG2-TSやアクトビラビデオ等、多彩なフォーマットへ変換可能です。H.265等の新しいフォーマットにも今後、対応の予定です。

処理する映像の量に応じて柔軟にシステムリソースを提供

本パッケージでは、対応するフォーマットや処理する映像の本数をお客様にヒアリングし、IIJの技術者が

最適なシステム構成を提案します。お客様は自社でサーバ等の機器を準備する必要がなく、利用したいタイミングで必要な量のシステムリソースをクラウド上で確保し、トランスコードを行うことが可能です。

動画ファイルの変換から配信までの自動化を実現

お客様は、本パッケージで提供する専用サイトに変換したい元の映像ファイルをアップロードするだけで、自動的にトランスコード処理が完了します。また、「IIJ 大規模コンテンツ配信サービス」などの CDN (Contents Delivery Network) サービスと組み合わせれば、これまで専門的な技術が必要とされていた動画の変換と配信をワンストップで自動化することができます。

IIJ は、今後もビデオ品質の画質測定ソリューションやフォーマットチェック、オンラインでのビデオ編集サイトなど、お客様のニーズに応える映像配信ソリューションの開発を検討してまいります。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 小河、村松

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: press@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/>